

第110回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2024年6月27日（木）10:00～17:20
2. 場 所：機械学会 第1・2会議室/Webex ハイブリッド開催
3. 出席者：委員27名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

笠原委員長（東大）、松永副委員長（東芝 ESS）、伊阪幹事（関西電力）、高橋（理科大）、鈴木（中部電力）、波木井（東電）、堂崎（東北大）、町田（TEPSYS）、浅山（JAEA）、大谷（MFBR）、平野（日立 GE）、渋鋤（IHI）、楠（日本原電）、中村（川崎重工）、川畑（東大）、三浦（電中研）、朝田（三菱重工）、山口（HSB ジャパン）、高柳（電機協会）、増川（火原協）、飯田（JERA、火専長）、高屋（JAEA、原専長）、西井（電源開発、材専長）

【委員代理】

佐藤（発電技検、爾見委員代理）、戸張（QST、橋爪核専長代理）

【欠 席】

なし

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

佐々木、戸田（以上 原子力規制庁）

【オブザーバ】

中島（三菱重工）、永田（日立 GE）、藤田（日立 GE）、小口（三菱重工）、町田（原電）、志田（東京電力）、野村（CS エンジニアリング）、齋藤（東芝 ESS）、高木（東電）、佐藤（三菱重工）、釜屋（INSS）、鬼澤（JAEA）、大林（三菱重工）、野本（JAEA）、中村（大阪大）、森田（電中研）、白井（電中研）、寺田（東芝 ESS）、萩原（東芝 ESS）、清水（日立 GE）、森井（関電）、大厩（関電）、野本（JAEA）、西田（三菱重工）

【事務局】

松岡、中村、渡邊

4. 配布資料

- 110-0：議事次第案
- 110-1：前回議事録
- 110-2：委員名簿案
- 110-4：第99回 規格委員会幹事会議事録
- 110-5：投票結果
- 110-6-1：質問受付対応
- 110-6-2：公衆審査結果
- 110-7：火力専門委員会報告
- 110-8：原専活動状況報告
- 110-9：材料専門委員会報告
- 110-10：核融合専門委員会報告
- 110-11-1：規格類協議会議事メモ
- 110-11-2-1：ASME Code Week(2024/5)概要報告
- 110-11-2-2：ASME CC-N-900 の概要
(110-12：欠番)
- 110-13-0：設計・建設分科会 審議案件
- 110-13-1-0：2024Ed(その3)改定提案_規委書面投票結果及び対応
- 110-13-1-1：DC19-03_合本_解説 PMB-3110_JIS_B0131 最新年版反映
- 110-13-1-2：DC23-35_合本_2024Ed_事例規格集
- 110-13-2：2024年 Ed_改定提案_公衆審査計画_#110 規委

110-13-3-1 : DC23-32_材料規格 2024(その 1) 影響評価
110-13-3-2 : DC24-16_材料規格 2024(その 2) 影響評価
110-13-3-3 : DC24-17_材料規格 2024(その 3) 影響評価
110-13-4-1 : DC22-29_溶接規格 2024(その 1) 影響評価
110-13-4-2 : DC23-13 溶接規格 2024(その 2) 影響評価
110-13-4-3 : DC23-27 溶接規格 2024(その 3) 影響評価
110-13-4-4 : DC24-15 溶接規格 2024(その 4) 影響評価
110-14-0 : 規格委員会_溶接分科会審議案件
110-14-1 : レーザビーム溶接における確認項目
110-14-2-1 : 事例規格「デジタル検出器を用いた溶接継手の放射線透過試験方法」の制定_規格委書面
投票結果
110-14-2-2 : 事例規格デジタル RT(案) 書面投票提案修正(案)
110-14-2-3 : 事例規格デジタル RT(案) 規格委員会書面投票【回答案統合版 R2】
110-14-2-4 : 規格委員会書面投票コメントに対する回答ダイジェスト
110-14-3-1 : W23-03_推奨表記集に合わせた表記の改定(案) 規格委員会書面投票提案
110-14-3-2 : 添付資料-1_溶接規格第 1-3 部_修正(案)
110-14-3-3 : 添付資料-2_溶接規格第 4 部_修正(案)
110-14-3-4 : 参考資料-3 _「II. 一般用語」改定案(新旧対照表)
110-15-0 : 維持規格分科会資料リスト
110-15-1 : 事例規格集 (2024)
110-15-2 : 引用規格の年版更新
110-15-3 : 原子炉内表面の試験要求の合理化
110-15-4 : 解説第一部(評価) 欠陥などの用語の見直し
110-15-5-1 : 解説第二部(評価) 体裁及び欠陥などの用語の見直し
110-15-5-2 : 解説第二部(評価) 体裁及び欠陥などの用語の見直し_規格改定案
110-15-6 : FSI-22-03_耐震クラス見直し
110-15-7 : 事例規格 P 環境中の SS の SCC CGR
110-15-8 : 維持規格 2024 年版公衆審査計画
110-16-0 : 第 110 回規格委 材料分科会審議項目一覧
110-16-1-1 : 規格委 LB No. 612 意見対応
110-16-1-2 : (規格委 LB No. 612 意見対応) 成案
110-16-2 : 規格委 LB No. 636 (正誤表) 意見対応案
110-16-3-1 : 材料規格記載の適正化_改定提案
110-16-3-2 : 原専 LB No. 741・756_意見対応
110-16-4 : 規格委 LB No. 629 投票結果 (2022 年 JIS 改正対応)
110-17 : 高温規格分科会審議案件リスト
110-17-1 : 規格委員会投票 No. 613 「2025 年版準用規格年版の更新提案(その 1) の承認」意見回答
(110-18 欠番)
110-19-0 : (配管減肉分科会) 表紙
110-19-1 : (BWR)【一式】_23NH-002_減肉推定を活用した T 管補強板下の減肉管理_規格委提出版
110-19-2 : (PWR)【一式】_23NG-002_減肉推定を活用した T 管補強板下の減肉管理_20240614_規格委提
出版
(110-20 欠番)
110-21-1_規委 106-21-2-1 改 1_環境疲労評価手法 2022_発行原稿チェック結果 修正提案_#110 規委
(110-22 欠番)
110-23-1_液体貯蔵タンク座屈解析手法ガイドライン意見伺い投票提案
添付資料-2-1_座屈評価ガイドライン案原稿
(110-24 欠番)

110-25-1：竜巻分科会審議事項
 110-25-2：「規格委提案 来歴・ 竜巻ガイドライン改定提案」
 110-25-3：規格委メール審議 89 結果
 110-25-4：規格委メール審議 89 議案 1 意見対応
 110-25-5：竜巻ガイドライン改定案（抜粋）
 110-25-6：「竜巻ガイドライン改定骨子」_修正案
 110-25-7：規格委メール審議 89 議案 1 意見対応
 110-25-8：公衆審査計画
 110-26-1：NBI 絶縁円筒規格審議依頼
 110-26-2：82-7-1 材料専門委員会ご意見伺い(投票 No. 57) 結果
 110-26-3：材料専門委員会審議資料(3)_第 59 回材料専門委員会議事録

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の 2/3 以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 110-1】

事務局より、前回議事録案が説明された。核融合専門委員会からの修正コメントを反映の上、議事録として承認された。

(2) 委員人事

(2-1) 規格委員会及び専門委員会役員・委員人事【110-2】

規格委員会の委員及び各専門委員会の役員・委員の人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。なお、名簿案では、鈴木委員が再任対象に含まれていたが、本人より 9/E の任期満了を以て退任する旨申し出があった。なお、規格委員会の人事については、次回理事会の承認を以て確定される。

➤ 規格委委員会

[新任] ー

[再任] 小山委員（日本製鋼所 M&E）、洪鋤委員（IHI）、楠委員（原電）

[退任] 鈴木委員（中部電力、9/E 任期満了に伴い退任）

➤ 火力専門委員会

[新任] 清水委員（電源開発）、藤田（旭化成）

[再任] 岡委員（富士電機）

[退任] 三沢委員(3/E)、添木委員（5/E）、関根委員（6/E）

➤ 原子力専門委員会

[新任] 桑水流委員（福井大）、古屋委員（電機大）、笹山委員（東芝 ESS）

[再任] ー

[退任] 月森（3/E）、笠原（6/E）、松永（6/E）

➤ 材料専門委員会

[新任] 若井委員（JAEA）

[再任] 波木井委員（東電）

[退任] 古川（7/E）

➤ 核融合専門委員会

[[新任] ー

[再任] 戸張幹事(QST)

[退任] ー

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

- (3-1-1) 専門委員会 2024 年度活動計画について【資料 110-3-1】
(説明者：火力専門委員会 飯田委員長、材料専門委員会 西井委員長、核融合専門委員会 戸張幹事)
- (3-1-1-1) ➤ 火力専門委員会活動計画：内容は以下のとおり。
- ・基本規定、詳細規定について 2024 年度中に改定版を発行する。2025/1 に公衆審査を予定。
 - ・火力向け配管減肉管理技術規格に関し、実機減肉データから改定の要否を検討する。
 - ・JSME 規格として溶接自主検査ガイドの作成を検討する
- (3-1-1-2) ➤ 材料専門委員会活動計画（案）：
- ・新材料採用ガイドラインについて曖昧な記載や不足事項等を明らかにし、恒常的に改善を図る。
 - ・規格値策定作業の DX 化：プログラム、データベースの整備により効率化とミスの軽減を図る。また、実在する材料データを元に仮想空間で構造健全性を評価する等のデジタルツイン構想も視野に入れる。今年度は概要を検討し、タスクを立ち上げることを考えている。
 - ・核融合、AM、高温ガス炉等、新分野の材料レビューに対応するため、外部専門家との連携強化を検討する。
 - ・JSME 動エネ部門ガイア／アグニプロジェクト推進（GAP）分科会活動への積極的支援
- 分科会活動計画
- ・新材料規格化分科会：火力専門委員会からの依頼への対応を継続して推進する。
 - ・材料規格統合化分科会：推奨引張試験方法について参照規格改定の反映等の更新を実施。
 - ・材料事象解説分科会：材料事象解説 2023 年版策定作業終了に伴い、当面活動を休止する。
- (3-1-1-3) ➤ 核融合専門委員会活動計画：
- ・新規規「NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格（案）」について、規格委書面投票 No. 640 の意見対応を進め、2024 年後半に公衆審査の実施を提案する。
 - ・「超電導マグネット構造規格」（最新は 2017 年版）の改定案として、FM-2000、Appendix 4B の改定について専門委員会投票を終了した。分科会で作業中の引用 JIS の年版改定対応と合わせ、規格委員会への提案を予定している。
- (3-2) 原子力規制庁技術評価への対応状況：【資料 110-3-2】（説明者：高屋原専長）
- 技術評価への対応状況について、溶接規格に関する分科会及び原専での追加対応や、規格改定提案単位及び解説への要求事項記載に関する NRA からの指摘への対応を含め、説明した。関連して、技術評価での指摘事項に対して、技術的見解の相違等があった場合の規格への反映方法等について議論があり、対応を検討することとした。この中で、規格本体への反映が難しい場合の対応として、解説に「当該規定には規制側より以下の制限が付加されている」等の情報を記載してユーザと共有する方法も考えられる旨、規制庁より発言があった。
- 規制庁より、現状、分科会と規格委員会に出席しているが、庁内で、分科会では改定提案がほぼ成案としてまとまっており意見がしづらいことから、作業会から出席したいという意見があることが紹介された。これに対し、三学協会で、同じ組織名称でも位置付けが異なることがあり、機械学会の分科会は、改定案をまとめるための審議を行う場所であるので、分科会に出席していただくことで問題ないのではないかとの意見があった。
- (3-3) AM技術検討タスクの活動状況について：【資料 110-3-4】（説明者：中島タスク主査）
- これまでの活動状況について
- ・AM技術検討タスクは原子力機器向け規格案策定を目的に原子力専門委員会傘下のタスクとして 2020/3 に発足した。構成員は研究機関、電力、メーカーからの委員約 20 名である。
 - ・メーカー 4 社（三菱、日立、東芝、IHI）を中心に規格案の 1 次ドラフトを作成済み（2023/8）。
 - ・国プロとして材料試験を 2021-2025 年度の 5 か年計画で継続中。プロセス検証方法の試験を完了し、AM材を対象に物性、引張・疲労強度等の材料特性の取得を進めている。

- 今後の進め方について
 - ・規格案のブラッシュアップと関連分科会からの意見聴取を進める。
 - ・国プロにより取得されたる材料試験結果を整理し、規格案の裏付けデータとする。
 - ・2025/5 を目途に規格案を原子力専門委員会に上申する予定。

(3-4) 推奨表記集改定案について：【資料 110-3-4】（説明者：高屋原専長）

- 規格委員会投票 No. 603 「原子力専門委員会 推奨表記集の改定」に関する意見対応が説明され、15 日間のメール審議を実施することが承認された。（資料 110-3-4）

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議：審議なし【資料 110-12 欠番】

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 110-13】

（説明者：設計・建設分科会 朝田主査）

- 設計・建設規格 2024 年版改定案(その 3)の以下の書面投票が行われ、[DC19-03]に対しては意見はなく、[DC23-35]は意見対応を行い、いずれも承認された。
 - ・DC19-03 「JIS B 0131 ターボポンプ用語」（資料 110-13-1-1）
 - ・DC23-35 「2024 年版 事例規格集」（資料 110-13-1-2）
- 承認された設計・建設規格 2024 年版改定案(その 1)及び(その 3)について、以下で公衆審査入りが承認された。なお、設計・建設規格 2024 年版改定案(その 2)については、2026 年改定案として書面投票での意見対応を行う。
 - ・設計・建設規格 2024 年版改定案 公衆審査入り提案（資料 110-13-2）
- 材料規格及び溶接規格 2024 年版改定の影響評価：3 規格の年版の整合をとるため、材料規格及び溶接規格 2024 年版改定提案に対する設計・建設規格への影響評価を行っており、両規格の改定提案に対して設計・建設規格への影響がないことが以下で報告された。
 - ・[DC23-32] 材料規格 2024 年版(その 1)提案（資料 110-13-3-1）
 - ・[DC24-16] 材料規格 2024 年版(その 2)提案（資料 110-13-3-2）
 - ・[DC24-17] 材料規格 2024 年版(その 3)提案（資料 110-13-3-3）
 - ・[DC22-29] 溶接規格 2024 年版(その 1)提案（資料 110-13-4-1）
 - ・[DC23-13] 溶接規格 2024 年版(その 2)提案（資料 110-13-4-2）
 - ・[DC23-27] 溶接規格 2024 年版(その 3)提案（資料 110-13-4-3）
 - ・[DC24-15] 溶接規格 2024 年版(その 4)提案（資料 110-13-4-4）

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格：【資料 110-14】

（説明者：溶接分科会 藤田幹事）

- 資料 110-14-1 により、「溶接規格 2024 年版改定案（その 3）レーザービーム溶接における確認項目」について、規格委書面投票 No. 625 の意見対応案及び修正案が示された。本修正案は、挙手による賛成多数によって可決された。
- 資料 110-14-2-1～4 により、「事例規格「デジタル検出器を用いた放射線透過試験方法」の制定（案）」について、規格委書面投票 No. 626 の意見対応案及び修正案が示された。本修正案は、現在原子力専門委員会においてメール審議中であり、原専でのメール審議の承認を前提とした規格委での 15 日間のメール審議実施について、挙手による賛成多数によって可決された。No. 92。
- 資料 110-14-3 により、「溶接規格 2024 年版改定案（その 4）推奨表記集に合わせた表記の改定」について説明がなされた。本提案は、現在審議中の推奨表記集に基づいて表記を改定するものであるが、現在も議論が継続されている欠陥関連用語に関する改定は含まれていないとの説明がなされた。本提案は、現在原子力専門委員会においてメール審議中であり、原専でのメール審議の承認を前提とした規格委での 30 日間の書面投票実施について、挙手による賛成多数によって可決

された。No. 641。

主な議論は以下のとおり

- 溶接規格 2020 年版の技術評価において指摘された誤記は修正されているか？⇒反映済みである。

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 110-15】

(説明者：維持規格分科会 野村主査)

- 維持規格 2024 年版改定案 投票意見対応の審議：以下の 5 項目について、投票意見対応の説明が行われ、挙手による採決により承認された。
 - ① 事例規格集 (2024 年版) (資料 110-15-1)
 - ② 引用規格の年版更新 (資料 110-15-2)
 - ③ 原子炉容器内表面の検査要求の合理化 (資料 110-15-3)
 - ④ 解説第一部 (評価) 欠陥などの用語の見直し (資料 110-15-4)
 - ⑤ 解説第二部 (評価) 体裁及び用語などの見直し (資料 110-15-5)
- 新規改定提案の審議：以下の 2 項目について、提案説明が行われ、書面投票入りが挙手による採決により承認された。
 - ⑥ 耐震クラス記載の見直し (資料 110-15-6)
 - ⑦ 事例規格・オーステナイト系ステンレス鋼の PWR1 次系水質環境中の SCC 亀裂進展速度 (資料 110-15-7)
- 公衆審査計画の審議：維持規格 2024 年版及び事例規格集の公衆審査計画の説明が行われ、公衆審査に入ることが挙手による採決により承認された。(資料 110-15-8)

主な議論は以下のとおり。

- 提案の事例規格については、ASME でもコードケースの発行を準備中で NRC と調整中と認識している。ASME に先行して JSNE から出す意図は特にあるか？⇒どちらが先でも、必要なら改定して対応すればよいとの認識である⇒了解した。

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 110-16】

(説明者：材料分科会 町田幹事)

- 書面投票意見対応：以下の規格委書面投票の結果及び意見対応案について説明された。挙手による採決の結果、意見対応及び議案の可決が全会一致で承認された。
 - ① 材料規格 2012 年版技術評価時の「適用に当たっての条件」への対応の承認に関する書面投票 規格委投票 No. 612) <資料 110-16-1>
 - ② 正誤表発行の承認に関する書面投票 (規格委投票 No. 636) <資料 110-16-2>
- 新規改定提案：以下の改定案について 30 日間の書面投票を行うことが挙手による採決により全会一致で承認された。
 - ③ 材料規格 2022 年版に対する改定提案 (その 3) 「記載の適正化 (推奨表記集の反映他)」改定提案
- 以下の改定案に関する書面投票が意見なしで終了したことが報告され、可決が確定した。
 - ④ 材料規格 2022 年版に対する改定提案 (その 2) / JIS の 2022 年改正対応の承認に関する書面投票 (規格委 LB No. 629)

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等に関する審議【資料 110-17】

(説明者：高温規格分科会 鬼澤主査)

- 書面投票意見対応：以下の規格委書面投票の結果及び意見対応案について説明された。挙手による採決の結果、意見対応案及び議案の可決が全会一致で承認された。
 - ・材料規格 2012 年版技術評価時の「適用に当たっての条件」への対応の承認に関する書面投票 (規

格委投票 No. 612) <資料 110-17-1>

- (4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議：審議なし【資料 110-18 欠番】
- (4-2-7) 配管減肉管理規格に関する審議【資料 110-19】
(説明者：中村主査、森田副主査)
- 規格委員会書面投票 No. 632 「減肉推定手法を活用した T 管の補強板下の減肉管理」における意見対応について報告された。意見対応システムを酢して利用した意見交換を通じて意見者の了解が得られている。挙手による採決の結果、意見対応及びこれに伴う編集上の修正について全会一致で承認された。
- (4-2-8) 配管耐震評価事例規格に関する審議：審議なし【資料 110-20 欠番】
- (4-2-9) 環境疲労評価に関する規格に関する報告【資料 110-21】
(説明者：高橋主査)
- 環境疲労評価手法 2022 年版の出版用原稿について以下のフォント修正を行うことが報告され、了解された。
 - ・図 EF-3212-1 の用語の添字を斜体に変更する（注：フォントの修正は内規「誤記等の訂正に関する処置要領」において、上位委員会には報告のみ行うことが定められていることに基づく対応である。）
- (4-2-10) コンクリート製格納容器規格：審議なし【資料 110-22 欠番】
- (4-2-11) シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン【資料 110-23】
(説明者：永田主査)
- 液体貯蔵タンク動的弾塑性座屈解析手法ガイドライン（案）
 - ・新規規格案として標記ガイドラインの概要が説明され、意見伺いの書面投票が提案された。挙手による採決の結果、30 日間の意見伺い書面投票を行うことが全会一致で承認された。
- (4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドライン：審議なし【資料 110-24 欠番】
- (4-2-13) 竜巻影響評価ガイドラインに関する審議：【資料 110-25】
(説明者：寺田幹事)
- 竜巻ガイドライン改定案のメール審議 (No. 89) の意見対応、及び原子力専門委員会にて意見対応を踏まえて改定案を修正するよう指摘があったことが説明された。このため竜巻ガイドラインの改定案を修正し、修正後の改定案について原子力専門委員会での審議が終わり次第規格委員会でもメール審議 (No. 93、15 日間) を行うことが承認された。(資料 110-25-1～8)
- (4-2-14) 核融合設備規格に関する審議：【資料 110-26】
(説明者：核融合専門委員会 戸張幹事)
- 「NBI 高電圧用ブッシング絶縁円筒構造規格（案）」の審議
 - ・審議経緯：材料部分について 2022/11 に材料専門委員会のレビュー（可決を必要としない書面投票 No. 64 として実施）を受け、外部専門家のレビューが必要との意見が出された。その後、2024/3 規格委員会書面投票 No. 640 が実施され、後者の意見対応を実施中である。
 - ・提案内容：材料専門委員会レビューでの意見を踏まえ、本規格の公衆審査において、委員会外部の専門家を指名してレビューを受ける方針が提案された。
 - ・審議結果：提案に対して、まず発電用設備規格委員会としての審議プロセスを終了させるべきとの意見が複数出された。本提案の採決は見送り、核融合専門委員会として意見対応案を次回規格委員会に提

示することが了解された。

(5) 発電用設備規格委員会活動状況報告応

(5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 110-4】

伊阪幹事より 3/11 に開催された第 96 回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。

(5-2) 書面投票結果【資料 110-5】

事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。

(5-3) 質問受付回答状況【資料 110-6-1】

事務局より、質問の受付及び回答状況について資料により報告された。

(5-4) 公衆審査報告【資料 110-6-2】

事務局より、以下の 2 規格に対する公衆審査が意見なしで終了したことが報告された。質問、異議等はなく、本日を以て規格委員会での審議を終了し、理事会に上伸することが確認された。

- No198：JSME S CB1-2024 発電用設備規格関連の材料事象の解説 2024 年版
- No199：JSME S NA-CC-016 発電用原子力設備規格 維持規格事例規格「管台内面丸み部の表面亀裂に対する応力拡大係数算出方法」

(5-5) 火力専門委員会報告（説明者：飯田火専長）【資料 110-7】

火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 5/22 に ハイブリッド形式で開催された第 108 回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
- 次回 第 109 回火力専門委員会は 8/28 に WEB 形式にて開催の予定。

(5-6) 原子力専門委員会報告（説明者：高屋原専長）【資料 110-8】

原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 5/21 に溶接規格技術評価対応を目的に第 118 回原子力専門委員会を臨時に開催した。
- 6/7 に定例の第 119 回原子力専門委員会を WEB 形式で開催した。
- 7/4 に溶接規格技術評価対応に関する第 120 回原子力専門委員会を臨時に開催する予定。
- 9/12-13 次回定例の第 121 回原子力専門委員会をハイブリッド形式で開催の予定。

(5-7) 材料専門委員会報告（説明者：西井材専長）【資料 110-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 6/5 に WEB 形式で開催された第 61 回材料専門委員会での審議を中心に活動状況が報告された。
- 次回 第 63 回材料専門委員会は 6/23 に WEB 開催の予定。

(5-8) 核融合専門委員会報告（説明者：戸張核専幹事）【資料 110-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 第 85 回核融合専門委員会は 6/10 及び 6/20 に WEB 形式で開催された。
- 次回 第 86 回核融合専門委員会は 9/17 に WEB 開催の予定。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 110-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 6/18 に開催された規格類協議会の議事内容として、民間規格に対する技術評価の進め方について、原子力規制庁、学協会双方の意見交換の様子が紹介された。

(6-2) ASME Code 委員会に関する報告【資料 110-11-2-1】

松永副委員長より、5 月中旬に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- SDO Code Convergence Board (5/13 開催) : 添付－1
- Seismic Design Steering Committee (5/9 開催) : 添付－2
- ASME/JSME Joint TG Severe Accident (5/14 開催) : 添付－3
- ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (5/9 開催) : 添付－4

(6-3) 発電規格の出版状況に関する報告【資料 110-11-3】

事務局より、規格の電子は維新及び出版の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 前回 2024/3/13 の報告以降の進展として、以下の規格の発行または配信サービスが開始されたことが報告された。

＜2022 年版改定＞

- ・ JSME S NA1-2022 発電用原子力設備規格 維持規格 3 月に電子版、冊子版を 4 月に出版

＜3/29 理事会による出版の承認（事例規格単体は電子配信のみ）＞

- ・ FA1-2023 金属キャスク構造規格 2023 年版
- ・ NX9-2023 静的機器に対する目標信頼性設定と適合性評価のためのガイドライン（新規）
- ・ NA-CC-008-1 事例規格 弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定
- ・ FA-CC-011 事例規格 バスケット材料としてアルミニウム合金及びほう素添加アルミニウム合金を使用する場合の規定

(7) 今後の予定

次回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第 111 回 発電用設備規格委員会 : 2024 年 9 月 26 日 (木) 10 : 00～17 : 00 (WEB 開催)

以 上